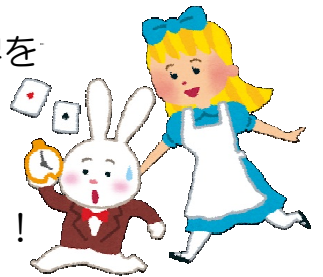


まえしょう
前小
としよかんだより

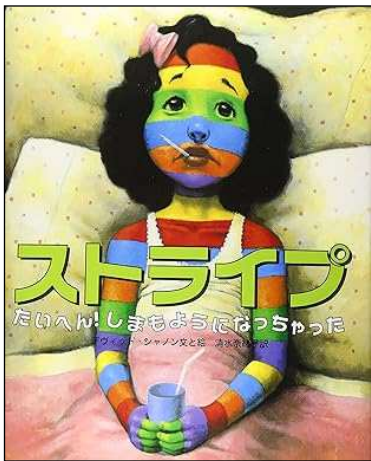
れいわ 令和8(2026)年
 5月②
 まえばるしょうがっこう
 前原小学校
 としよかん
 図書館

ものがたり なか
 物語の中ではどんなことだって起こってしまう、そんなふしぎな世界を
 えが はなし
 描いたお話は、「こどもの読書週間」に読む本にぴったりかも♪
 そうぞうりょく
 みんなの想像力をかきたて、物語を楽しむ楽しさを教えてください。
 きのこ
 さあ、気になる本の扉をあけて、不思議の世界に足を踏み入れましょう！



ふしぎだなあ ○○○ **ちょっと不思議な物語特集**

たいしょうがくねん 対象学年めやす ★1・2年～ ★★3・4年～ ★★★5・6年～



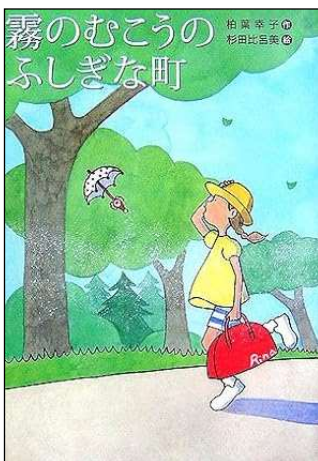
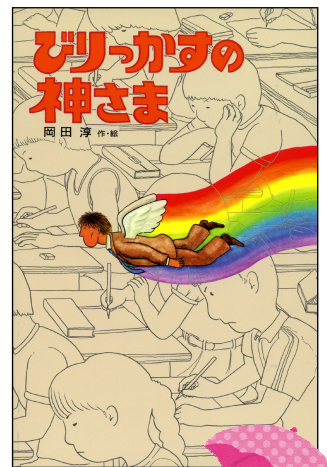
『ストライプ たいへん! しももようになっちゃった』 ★

デヴィット・シャノン (らんか社)

カメラはいつも人の目ばかり気にしている女の子。学校みんなが嫌いなマ豆が本当は好物なのも秘密にしています。新学期の朝、格好を気にして服をとっかえひっかえしていたカメラの体が、色とりどりのストライプに!

『びりっかすの神さま』 岡田 淳 ★★

しょうがく ねんせい 小学4年生の木下始は転校先のクラスで、背中に翼を持つ小さな男を目撃します。この不思議な存在は「びりっかすの神さま」と呼ばれ、テストで最下位になった子にだけ見えるらしい。始は神さまと話したくて、わざとビリを取るようになります。やがて同じような仲間が増え、クラス全体が競争や順位の意味について深く考え始めます。運動会のリレーを前に、子どもたちが本当に大切なものが何かを見つけていく物語です。(偕成社)



『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉 幸子 (講談社) ★★★

ねんせい 6年生のリナは、今年の夏休み、父親のすすめで霧の谷の町へ行くことになりました。2回乗り継いで、無事目的の駅にたどりついたものの、お迎えが来ていません。霧の谷の森を抜け、霧が晴れた後、赤やクリーム色の洋館が立ち並ぶ、きれいでどこか風変わりな町が現れました。下宿屋の女主人から、「働かざるもの食うべからず」と言われ、滞在中アルバイトをするよう言われます。リナが出会った、めちゃくちゃ通りに住んでいる、へんてこりんな人々との交流が描かれています。

しおり&五七五 コンテスト!!

オリジナルの「しおり」と「五七五」を募集します!!

＝ 応募方法 ＝

- ・図書館においてある「しおり」の応募用紙、
「五七五」の応募用紙を使います。
- ・書いたら、図書館の中にある 応募箱に 入れてください。

＝ 注意事項 ＝

「五七五」とは?…俳句や川柳以外にも、キヤッチコピーやスローガンなど、五七五のリズムがおおつかわれます。五七五は、日本人にとって、心地よいリズムだと言われています。

しおり ・枠の中に、自分で考え、自分で 絵を描きます。(アニメのキャラクターは、応募できません。)
・フリクションペンは、使用しないでください。ラミネートすると消えます。

五七五 ・5音・7音・5音の17音の定型詩を作ってみましょう。1音程度の字余り、
字足らずはOKです。リズムを大切にしましょう。
・テーマは「本」。本、図書館、読書、本の内容についてなど、本に関することなら何でもOK。

＝ 応募期間 ＝

6月5日(金)まで。

※コンテストの投票は、6月の後半に予定しています。

くわしくは、次回号で!

開催中の図書委員会イベント(昼休み)

●好きな本アンケート●

アンケート用紙と、回収BOXを図書館内に

おいています。好きな本のタイトルを3つまで書いて、回収BOXに入れてください。

※今回は、赤い背ラベルの本(お話・絵本)に限定します。その中で好きな本を教えてください。《5月22日(金)まで》

※好きな本ランキング発表は5月末

●本の紹介POPスタンプラリー●

みんなに紹介したい本に出会ったら、ぜひ

その本のPOPを書いて、紹介してみましょう!

POPを1枚書いたら、スタンプカードに1つスタンプがもらえます。

5つたまったら、「ぷらす1さつけん」か「いつでもかりることができるけん」をプレゼントします♪

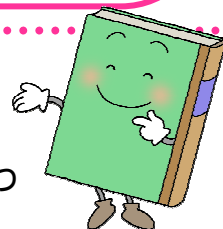
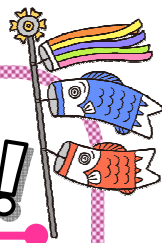
《期間はいつでも》

※書いてくれたPOPは図書館内に展示します

図書委員から おすすめの本の紹介

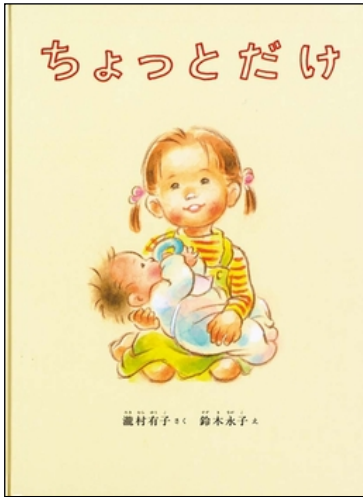
5月から、週に一度、給食時間に「図書委員から おすすめの本」を1冊ずつ

放送で紹介していく予定です。ぜひ、図書委員おすすめの本を読んでみてくださいね♪



ほん かぞく きずな
おすすめの本のテーマ： 家族の絆

たいしょうがくねん
 対象学年のめやす ★1・2年～ ★★3・4年～ ★★★5・6年～



『ちよつとだけ』 瀧村 有子 / 鈴木 永子 (福音館書店) ★
 おとうとが生まれて、なっちゃんはお姉さんになりました。お母さんは赤ちゃんのお世話で忙しいので、いつもなっちゃんの要求に応じてあげるといふ訳にはいかなくなりました。そこで、なっちゃんはいろんなことを自分ひとりでやってみます。お姉さんになったからと頑張るなっちゃんですが、眠くなった時だけは、どうしてもお母さんに甘えたくります。お姉さんになったことで感じる切なさ、そしてそれを乗り越えることで成長していく子どもの姿がお母さんの深い愛情とともに描かれています。



『かみさまにあいたい』 当原 珠樹 (ポプラ社) ★★
 大好きだったおばあちゃんに、うそをついたまま永遠の別れを迎えてしまった3年生の雄一。ある日、同級生の竜也から、「神さま」と会ったことがあるという話を聞きます。「神さま」って、本当にいるの？もし会えたら、ひみつの願いごとをかなえてくれる？雄一にも、竜也にも「神さま」に会いたい理由がありました。雄一は、竜也といっしょに、「神さま」との交信を試みることになりますが…。悲しみと向き合いながら、前に進むとする少年たちの物語です。



『チョコレート工場の秘密』 ロアルド・ダール (評論社) ★★★
 チャーリーは、貧しいながらも愛情にあふれた両親と祖父母の7人家族。ある日、世界一有名で、謎だらけのチョコレート工場の経営者ワンカ氏が、5人の子どもを工場に招待すると発表しました。世界にたった5枚しかない黄金切符を手にした子どもだけが入れなのです。工場へ入ることを熱望するチャーリーに、何とかして黄金切符を手に入れさせてやりたいと家族は願います。そしてチャーリーは切符を手にし、ジョウおじいちゃんとともに工場へ足を踏み入れるのです。貧しいけれど心の豊かなチャーリーは、工場の中でワンカや他の子どもと触れあうたびに成長していきます…

5月10日は母の日、6月21日は父の日です。毎日、あたいまえのように一緒に過ごしている家族ですが、何か困ったことにぶつかったとき、最初に手をさしのべてくれるのは、やっぱり家族ですよ。お父さんやお母さんだけでなく、おじいちゃんやおばあちゃん、そして兄弟姉妹…。そんな家族に感謝を伝える日にしたいですね♪



『おねえちゃんって、いつもがまん!?』 itou mik (岩崎書店) ★

もうすぐココの運動会。お弁当はナツちゃんが好きなおいなりにさんにしようって。頑張るのはココなのに、どうしてナツちゃんの好きなものなの!? そんなのおかしい!ところが、大ゲンカした次の日、ナツちゃんが熱を出してしまい…おねえちゃんの気持ちに寄り添う成長物語です。前小図書館には、他にも『おねえちゃんって、すごくもやもや!』、『おねえちゃんって、ちよつとせのび!』のシリーズ3冊おいています。“おねえちゃん”の立場のお友達、ぜひ読んでみてくださいね。



『いろいろなかぞくのほん』 メアリ・ホフマン/ロス・アスキス ★

少し昔の本に出てくる家族はたいい同じだけど、人が一人一人違うように、実際の家族にはいろいろな形があります。この本は、家族のあり方について改めて考えるきっかけを与えてくれます。世界のさまざまな家族がイラストで紹介されていて、お父さんだけの家、お母さんだけの家、どちらもいなくておじいちゃん、おばあちゃんと暮らしている子どもの家。また、お母さんが2人いる家やお父さんが2人いる家があることも教えてくれます。暮らした方もさまざまです。住んでいるところ、教育の受け方、仕事や休みの日の過ごし方など、多様性への理解が深まる1冊です。(少年写真新聞社)



『西の魔女が死んだ』 梨木 香歩 (新潮社) ★★★

中学に進んでまもなく、どうしても学校へ足が向かなくなった少女まいは、イギリス人である母方の祖母の家でしばらく暮らすことになりました。祖母は自らを「西の魔女」と名乗り、まいに「魔女修行」を教えます。その修行とは、特別な魔法ではなく「早寝早起き」「食事をしっかり摂る」「自分のことは自分で決める」といった、規則正しく、そして自律した生活を送ることでした。自然に囲まれた穏やかな暮らしの中で、まいはジャム作りやハーブの知識を学び、少しずつ心身の元気を取り戻していきます。しかし、あることが原因で、大好きだった祖母との間に溝ができてしまいます…

